

2月定例山行

2月1日(日) 東郷山

参加者 21名

CL 永谷 SL 宮木カ

村島、中島ミ、中島ヤ
円山、上別祖、宮木ス
原田、村田、石倉
小寺、坂井、三重ナ
三重ノ、林、入江
安永、国本、藤本タ
白川

コースタイム

県庁 7:30⇒大森神社 8:20⇒登山口 9:05⇒二番目の鉄塔 10:00⇒
東郷山(10:40～昼食～11:30)→四本杉 12:40→白砂林道 13:50→
恵下谷出会 14:30→採石場 15:20⇒湯ノ山温泉 16:15⇒県庁 17:00



○

積雪がかなりあるだろうと期待していたが、二日前下見をした永谷リーダーによればほとんど雪はないということでワカンにはバスに置いて行く。林道は凍っているので注意して歩く。南の方向には大峰山のあの特長ある姿が大きく見える。かなりの急登はあるものの、好天気に恵まれ順調に頂上に着く。

村田さん差し入れの甘酒を皆で美味しくいただく。下山は北斜面を下る。さすがに雪の量が多い。四本杉まで急斜面の山腹をトラバース気味に下っていく。天然記念物に指定されている四本杉は大木の多い東郷山の中でも結構目立つ存在だ。再び急斜面を下っていく。中途半端な雪で滑りやすく、林道に出るまで緊張の連続だ。帰りは湯ノ山温泉で汗を流す。とても気持ちのよいお湯だった。

(記 宮木一民)

○

寒冷前線が逃げた後の温かい日の参加になりました。

林道を結構歩き、登山道は急登な坂あり

階段ありで、汗だくだくで登った。送電線の鉄塔を1つ、2つ3つ目と数え頂上をめざす。早弁で楽しみは用意していただきました甘酒。吟醸酒の酒かすだとか、とっても美味しかった。汗が引いた後の冷えた体もぼかぼか温まりました。

下りは北尾根に雪があり細く急な道をジグザグと下っていきます。山側に体を倒しちゃいけない。へっぴり腰になるな、足を直角にもっていき。と言われても体は山側へ、へばり付きお尻は地球に近づこうとする。あっちこっちでしりもちをつきながら、ストックと両足に力が入る。そんな中でも巨大な4本杉、ツガの大木、大きなサルノコシカケを幾つも育てる豊かな山に足を止め、歓声を上げながら下って行きました。

帰りに立ち寄った湯の山温泉はきれいに変身しており、人が多く皆様奥ゆかしくつかただけだったとか。私オバタリアン丸出しでしっかり頭まで洗って出てまいりました。あーいい山いい湯でございました。

(記 安永秀子)